

可燃ごみ排出量の状況

1 可燃ごみ減量化目標

現在、浪岡地区のごみについては、黒石地区清掃施設組合で処理しているところであるが、令和8年度の黒石地区清掃施設組合及び弘前地区環境整備事務組合によるごみ処理施設の集約化を見据え、浪岡地区を加えた可燃ごみを青森市清掃工場（年間処理可能量84,567トン）で処理できるよう、年間で800トン、5年間の合計で4,000トンの減量となるごみ減量化目標を、令和元年度に定めたところである。

2 可燃ごみ排出量の推移(青森地区+浪岡地区+広域町村)

令和6年上半期（4月～9月）時点で、年間の可燃ごみ排出推計値は79,050トンとなっており、昨年度と比較して、365トン減少する見込みである。

また、令和2年度から令和6年度までの5か年の計画期間では、4,000トンの減量化目標に対し、4,970トン多い8,970トンの減量が図られる見込みである。

(単位：t)

区分	減量化目標	目標設定時における目標排出量	可燃ごみ排出量	減量実績(対前年度)	減量実績－減量目標	リサイクル率
令和元年度	—	87,663	88,020	—	—	—
令和2年度	800	86,863	84,756	3,264	2,464	14.3%
令和3年度	800	86,063	84,145	611	△189	14.4%
令和4年度	800	85,263	82,825	1,320	520	13.8%
令和5年度	800	84,463	79,415	3,410	2,610	13.7%
令和6年度	800	83,663	79,050	365 ^{*1}	—	13.3%
5年間の合計	4,000	—	—	8,970	4,970	

※1 令和6年度の可燃ごみ排出量については、上半期（4月～9月）時点での見込量

※2 令和7年度には、青森市清掃工場の破碎選別処理施設の再稼働を予定しており、リサイクル率が、1.5ポイント上昇（R6：13.3%→R7:14.8%）すると見込んでいる。

